

大臣認定構造計算プログラムの利用上の不具合等について

プログラム名：SEIN La CREA認定版/RC

大臣認定番号：SPRG-0001-05

大臣認定年月日：平成20年10月24日

報告番号	不具合の内容	影響の範囲 (当該不具合により影響が生ずるおそれのあるケース)	影響の度合い	計算編マニュアル 該当箇所
1	長期荷重に積雪荷重又はユーザー定義荷重を考慮している場合、平成12年建設省告示第1459号の規定に関するたわみ量の計算において、梁両端部モーメントの値を誤って、組合せた荷重ケース数分を乗じた値(常時+積雪時の場合及び常時+ユーザー定義荷重の場合は2倍、常時+積雪時+ユーザー定義荷重の場合は3倍)となっていた。(このため、長期の梁においては、中央たわみ量が過小評価されていた。)	長期荷重に積雪荷重又はユーザー定義荷重を考慮している場合	平成12年建設省告示第1459号の建築物の使用上の支障の規定について危険側となる場合がある。	
2	大梁の部材種別を考慮せずに柱の種別修正を行っていた。	計算ルート3の柱の種別修正計算で、大梁の部材種別で決定される場合	階のDsが変わるため、必要保有水平耐力の値が変わる。危険側、安全側のどちらになるかは、モデルによって異なる。	10.2.4 RC造の構造特性係数(Ds)
3	RC柱の断面算定で剛域の取得方向がX方向とY方向で逆になっていた。	RC柱の断面算定において剛域端で応力(水平荷重分のみ)を取得する場合	柱の短期設計応力が正しく計算されないため、短期の検定結果も変わる。危険側、安全側のどちらになるかは、モデルによって異なる。	8.5.2 RC造柱の断面計算
4	RC柱・はり接合部の検討で梁降伏型の場合、上端筋、下端筋の主筋断面積の取得が逆になっていた。	計算ルート3でRC柱・はり接合部の検討で梁降伏型の場合かつ梁端部の上下の主筋断面積が異なる場合	柱はり接合部の断面計算結果が異なる場合がある。危険側、安全側のどちらになるかは、モデルによって異なる。	8.5.4 RC造柱・梁接合部の断面計算
5	断面算定における梁の降伏曲げモーメント算定時に、ス	RC造でスラブ筋を考慮する場合	断面算定においてRC梁の降伏曲げモーメントが過小評価され	8.5.1 RC造大梁の断面計算

	<p>ラブ筋に対する大梁有効せいを有しているところを、スラブ筋の重心位置で計算していた。</p>		<p>る。 梁の降伏曲げモーメントを使用しているRC柱、RC梁、RC接合部のせん断の断面計算に影響がある。RC柱、RC梁では危険側となり、RC接合部では危険側とはならない。ただし、梁主筋が多く、スラブ筋の影響が小さい建築物に関してはほとんど影響がないと思われる。</p>	<p>8.5.2 RC造柱の断面計算 8.5.4 RC造柱・梁接合部の断面計算</p>
--	--	--	---	---

プログラム名：SEIN La CREA認定版/S

大臣認定番号：SPRG-0002-05

大臣認定年月日：平成20年10月24日

報告番号	不具合の内容	影響の範囲 (当該不具合により影響が生ずるおそれのあるケース)	影響の度合い	計算編マニュアル 該当箇所
1	長期荷重に積雪荷重又はユーザー定義荷重を考慮している場合、平成12年建設省告示第1459号の規定に関するたわみ量の計算において、梁両端部モーメントの値を誤って、組合せた荷重ケース数分を乗じた値(常時+積雪時の場合及び常時+ユーザー定義荷重の場合は2倍、常時+積雪時+ユーザー定義荷重の場合は3倍)となっていた。(このため、長期の梁においては、中央たわみ量が過小評価されていた。)	長期荷重に積雪荷重又はユーザー定義荷重を考慮している場合	平成12年建設省告示第1459号の建築物の使用上の支障の規定について危険側となる場合がある。	
2	大梁の部材種別を考慮せずに柱の種別修正を行っていた。	計算ルート3の柱の種別修正計算で、大梁の部材種別で決定される場合(2.4.1.01でデグレードを起こしていたため、それ以前のバージョンでは問題ない。)	階のDsが変わるため、必要保有水平耐力の値が変わる。危険側、安全側のどちらになるかは、モデルによって異なる。	10.2.2 S造の構造特性係数(Ds)